

令和5年度

シラバス

青翔開智高等学校

第2学年

もくじ

論理国語	3
古典探究	4
地理探究	5
日本史探究	6
世界史探究	7
数学Ⅱ	8
数学B	9
物理	10
生物	11
基礎研究	12
化学基礎・化学	13~15
体育(男子・女子)	16~17
保健	18~19
英語コミュニケーションⅡ	20
【学校設定】言葉と表現	21
探究Ⅴ	22
家庭基礎	23
公共	24

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	国語	論理国語	2	必修	

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をととして、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・探究スキルラーニングにおける評価物	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	筑摩書房『論国710 論理国語』・筑摩書房『論理国語 学習課題ノート』・桐原書店『セレクト漢字検定 5級～2級』		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	・ガイダンス	1	
	・「物語るという欲望」【読むこと-A】	6	ペーパーテスト①
	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。		
	・「地図の想像力」【読むこと-E】	7	ペーパーテスト②
	文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。		
	・「実践1」(探究スキルラーニング(SDGsの忘れ物))【書くこと-E】【読むこと-I】	8	探究スキルラーニングで評価する成果物等
2学期	SDGsに関して、様々な領域の論文を読み、批判的に考察する。(図書館利用)		
	・問題演習	4	
	選択式の問題を解く方法を学ぶ。		
	・「人新世における人間」【読むこと-O】	6	ペーパーテスト③
	関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。		
	・問題演習	3	
3学期	記述式問題の解答方法を学ぶ。		
	・「荘子」【読むこと-K】	6	ペーパーテスト④
	人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深める。		
	・「生物の作る環境世界」【読むこと-Y】	6	ペーパーテスト⑤
	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりする。(図書館利用)		
	・「実践2 レポートを書こう」【書くこと-O】	7	探究スキルラーニングで評価する成果物等
4学期	個々の文章の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する。		
	・問題演習	3	
	選択式・記述式の問題の解答方法を学ぶ。		
	・問題演習	3	
	資料が複数存在する問題の解答方法を学ぶ。		
	・「桜が創った『日本』」【書くこと-I】	7	ペーパーテスト⑥
5学期	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりする。(図書館利用)		
	・「実践3 資料や情報を吟味して、自分の考えにつなげよう」(探究スキルラーニング)【読むこと-U】	8	探究スキルラーニングで評価する成果物等
	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。(図書館利用)		
	・問題演習	3	
	実際の入試問題に触れ、実践的な解答方法を学ぶ。		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	国語	古典探究	3	必修	習熟度

科目の目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。			
評価の観点 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	思考力・判断力・表現力 「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。
評価の方法 ペーパーテスト	ペーパーテスト ペーパーテスト	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など	
教科書・教材 『古典探究(古文編)』(筑摩書房)、『古典探究(漢文編)』(筑摩書房)、『古典探究 課題ノート』(筑摩書房)、読解を大切にする体系古典文法、読解を大切にする体系古典文法ワーク(数研出版)、みるみる覚える古文単語300+30(いっすな書店)、体系漢文、体系漢文法演習(数研出版)			

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	・ガイダンス	1	
	・『宇治拾遺物語』『古今著聞集』【読む】	9	ペーパーテスト①
	語の識別、辞書学習、古典常識の復習及び定著の確認・場面の展開を把握する		
	探究スキルラーニング「平安文化を知ろう」【話す・聞く】(図書館利用学習)	8	成果物
	平安文化に関する本の内容をまとめて発表する		
	・故事成語【読む】	8	ペーパーテスト②
	故事成語の由来と意味を理解する・寓意を含む表現について作者の意図を正確に読み取る		
	・『伊勢物語』【読む】	8	ペーパーテスト③
	和歌の修辭法を理解する・和歌と地の文章の関係について理解する		
	・問題演習	4	
2学期	・史伝【読む】	8	ペーパーテスト④
	再読文字や読解に必要な疑問、使役、受身を中心とした句法を習得する		
	・『土佐日記』源氏物語』【読む】(図書館利用学習)	12	ペーパーテスト⑤
	登場人物の人間関係を正確につかみ、その前提となる敬語の用法を習得する		
	探究スキルラーニング『源氏物語』における相聞歌について「ことば」に着目して理解を深める【話す・聞く】	5	レポート
	・俳句学習	3	
	演習	4	
	・『論語』人の性【読む】	10	ペーパーテスト⑥
	儒家の思想を理解し、自らの思考を深める		
	文法まとめ	6	
3学期	演習	4	
	・『大鏡』【読む】	8	ペーパーテスト⑦
	歴史物語の特色を理解する・文法事項を総復習する		
	・漢詩【読む】	8	ペーパーテスト⑧
	近体詩の形式や特色について理解する		
	演習	6	
		76	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	地理・歴史	地理探究	2	選択必修	選択

年間学習計画				
学期	学習内容		時数	主な評価方法
1学期	1-1 地形		6	
	1-2 気候と生態系		6	ペーパーテスト①(1-1,1-2)
	1-3 世界各地の自然と生活		6	
	1-4 日本の自然環境と防災		4	
	1-5 地球環境問題		4	ペーパーテスト②(1-3,1-4,1-5)
	探究スキルラーニング「GISを活用して中学生に分かりやすく説明しよう」		4	
2学期	2-1 農林水産業		6	
	2-2 資源・エネルギー		4	ペーパーテスト③(2-1,2-2)
	2-3 工業		6	
	2-4 第3次産業		2	ペーパーテスト④(2-3,2-4)
	3-1 交通・通信		4	
	3-2 貿易・観光		4	ペーパーテスト⑤(3-1,3-2)
	探究スキルラーニング「ジオパークツアーをプレゼンしよう」		4	
3学期	4-1 人口		6	
	4-2 村落・都市		4	ペーパーテスト⑥(4-1,4-2)
	5-1 生活文化と言語・宗教		4	
	5-2 国家とその領域		4	ペーパーテスト⑦(5-1,5-2)

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	地理・歴史	日本史探究	2	選択必修	選択

科目の目標 我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う				
評価の観点 我が国の歴史の発展に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	関心・意欲・態度	思考・判断・表現 我が国の歴史の展開から課題を見出し国際環境と関連づけて多面的、多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	技能 我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	知識・理解 我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。
評価の方法 クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など	ペーパーテスト・成果物など		ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・成果物など
教科書・教材 山川出版社『詳説日本史B 改訂版』、山川出版社『詳説日本史B 改訂版』				

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス	1	
	○日本文化のあけぼの	8	ペーパーテスト①
	探究スキルラーニング「縄文、弥生の幸せを自分の価値観を基準に考える。」	2	成果物
	○古墳とヤマト政権、律令国家の形成	8	ペーパーテスト②
	探究スキルラーニング「仏教は誰のため？」	2	成果物
	○貴族政治と国風文化	8	成果物
2学期	○中世社会の成立	12	ペーパーテスト④
	探究スキルラーニング「法から当時の社会情勢を考える」	2	成果物
	○武家社会の成長	12	ペーパーテスト⑤
	探究スキルラーニング「その宗派は誰のため？」	2	成果物
3学期	○幕藩体制の確立	16	ペーパーテスト⑥
	探究スキルラーニング「体制維持に必要な要素とは？」	2	成果物

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	数学	数学Ⅱ	4	必修	選択

科目の目標	(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3) 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりするための技能を身につける。	日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて問題解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりできるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことについて、全体を通して質的な向上を目指す。	
評価の方法	単元テスト・小テストなど		単元テスト・小テストなど	提出物・授業中の発言や取り組みなど
教科書・教材	数研出版 数学Ⅱ、新課程 チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B			

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	式と証明	20	
			単元テスト①
	複素数と方程式	20	
			単元テスト②
2学期	図形と方程式	32	
			単元テスト③
	三角関数	28	
3学期			単元テスト④
	指数関数と対数関数	16	
	微分法と積分法	36	
	探究スキルラーニング「ニュートン法」		
3学期			
			単元テスト⑥
	数学Ⅱの復習	4	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	理科	生物	2	選択必修	選択

科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
評価の観点	知識・技能 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	思考・判断・表現 自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	高等学校 生物(啓林館)		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	第1部 生命現象と物質 第1章 生命と物質 第1節 物質と細胞 ①生物を構成する物質 ②細胞 ③細胞骨格 ④生体膜 第2節 生命現象とタンパク質 ①タンパク質の構造 ②酵素 ③さまざまなタンパク質のはたらき ④免疫にかかわるタンパク質	10	授業への取り組み ペーパーテスト ①(第1章) レポート ①
	探究スキルラーニング「光合成生物のもつ光合成色素には違いがあるか」	4	観察・実験の実技・成果物
	第1部 生命現象と物質 第2章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 呼吸 ①呼吸のしくみ ②発酵と解糖 ③呼吸基質と呼吸商 第3節 光合成 ①光合成の2つの過程 ②光合成色素 ③光合成のしくみ ④細菌の光合成と化学合成 第4節 窒素代謝	10	授業への取り組み ペーパーテスト ②(第2章)
2学期	第1部 生命現象と物質 第3章 遺伝現象と物質 第1節 遺伝情報とその発現 ①核酸 ②DNAの複製の仕組み ③遺伝子の発現の仕組み ④遺伝情報の変化 第2節 遺伝子の発現調節 ①原核生物における遺伝子発現の調節 ②真核生物における遺伝子発現の調節 第3節 バイオテクノロジー ①遺伝子を扱った技術 ②遺伝子機能の解析 ③ゲノムの多様性とその応用	12	授業への取り組み ペーパーテスト ③(第3章) レポート ②
	探究スキルラーニング「DNA の抽出(プロッコリー)」	4	観察・実験の実技・成果物
	第2部 生殖と発生 第1章 有性生殖と染色体の分配 第1節 有性生殖 ①有性生殖と無性生殖 ②染色体と遺伝子 ③減数分裂 第2節 遺伝子の多様な組み合わせ ①染色体における遺伝子の位置 ②着目する2つの遺伝子が独立である場合 ③着目する2つの遺伝子が連鎖している場合	12	授業への取り組み ペーパーテスト ④(第4章)
3学期	第2部 生殖と発生 第2章 動物の生殖と発生 第1節 動物の配偶子形成と受精 ①動物の受精 第2節 初期発生の過程 ①卵割と初期発生 ②発生のしくみ ③形成体と誘導 ④ショウジョウバエの体節の形成 ⑤アポトーシス	12	授業への取り組み ペーパーテスト ⑤(第5章) レポート ③
	探究スキルラーニング	4	観察・実験の実技・成果物
	第2部 生殖と発生 第3章 植物の生殖と発生 第1節 被子植物の受精 ①花粉と胚のうの形成 ②重複受精 第2節 胚と種子の形成 ①胚の形成 ②種子の発生 第3節 植物の器官形成 ①栄養器官の形成 ②花器官の形成と遺伝子制御	10	授業への取り組み ペーパーテスト ⑥(第6章)

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	理科	基礎研究	2	選択必修	選択

	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス	2	
	身の回りの科学(掃除・洗濯・料理・美容)をテーマに化学書回転寿司 問いづくり	2	
	チームづくり 計画立て	2	
	「科学と人間生活」教科書 第2部 物質の化学 アクティブブックダイアログ	2	
	実験「金属について」	2	
	探究	2	小テスト1
	探究	2	
	「科学と人間生活」教科書 第2部 物質の化学 アクティブブックダイアログ	2	
	実験「プラスチックについて」	2	
	探究	2	
	探究	2	
	発表／振り返り	2	レポート・成果物
	微生物と生活をテーマに生物書回転寿司	2	
	チームづくり 計画立て	2	
2学期	観察「土の中の微生物について」	2	
	観察「キノコの生態について」	2	
	「科学と人間生活」教科書 第1部 生命の化学 アクティブブックダイアログ	2	小テスト2
	探究	2	
	探究	2	
	実験「微生物と食品について」	2	
	探究	2	
	探究	2	
	実験「微生物と医学について」	2	
	探究	2	
	探究	2	
	発表／振り返り	2	レポート・成果物
	模試対策: 出題内容の考察と基礎的知識・計算力の定着	2	
	生物多様性をテーマに化学書回転寿司 問いづくり	2	
3学期	チームづくり 計画立て	2	
	実験計画の作成	2	
	実験	2	
	アクティブブックダイアログ	2	
	探究	2	小テスト3
	探究	2	
	探究	2	
	探究	2	
	発表／振り返り	2	レポート・成果物
	科学とはなにか	2	
	科学とはなにか	2	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	理科	化学	2	選択必修	選択

科目目標	化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技（観察・実験・作図など）など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	高等学校 化学（第一学習社）、セミナー 化学基礎＋化学（第一学習社）、三訂版 フォトサイエンス化学図録 デジタル版 for iPad		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	体育・保健	体育(男子)	2	必修	男女別

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。また、スポーツを通して粘り強くやり遂げる・自己の責任を果たす・一人一人の違いを大切にすることといった態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。そして、自らの学習を調整しようとする力と粘り強い取り組みを行おうとする力を身につける。
評価の方法	ベーバーテスト・実技テスト等	ベーバーテスト・実技テスト レポート・発表等	教師による行動観察・自己評価/相互評価等
教科書・教材	アクティブスポーツ		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	オリエンテーション 体づくり運動 新体力テスト	4	・新体力テスト結果等
	陸上 ・走運動(短距離走、中・長距離走、リレー)	8	・単元テスト① ・実技テスト
	球技1 ネット型「バドミントン」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・ストロークの理解、サービス、ラリーの組み立て)	6	・単元テスト② ・実技テスト
	球技2/体育理論 ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	8	・単元テスト③ ・実技テスト
2学期	球技3/体育理論 ゴール型「バスケットボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	8	・単元テスト④ ・実技テスト
	球技4 ゴール型「サッカー」 ・基本的技能の習得とゲーム(パス、シュート、トラップ、攻撃と守備の原則の理解)	8	・単元テスト⑤ ・実技テスト
	球技5/体育理論 ベースボール型「ソフトボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(打撃、捕球、送球などの用具操作、走者と連携した打撃とその守備)	10	・単元テスト⑥ ・実技テスト
	選択 ダンス ・現代的なリズムのダンス 器械運動 ・マット、跳び箱	10	
3学期	球技6 ネット型「卓球」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	10	・ダンス発表会 ・実技評価チェックシート
	球技バレー(男女合同)	6	・単元テスト⑦ ・実技テスト

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	体育・保健	体育(女子)	2	必修	男女別

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。また、スポーツを通して粘り強くやり遂げる・自己の責任を果たす・一人一人の違いを大切にすることといった態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。そして、自らの学習を調整しようとする力と粘り強い取り組みを行おうとする力を身につける。
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	教師による行動観察・自己評価/相互評価等
教科書・教材	アクティブスポーツ		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	オリエンテーション 体づくり運動 新体力テスト	4	・新体力テスト結果等
	球技1/体育理論 ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	8	・単元テスト① ・実技テスト
	陸上 ・走運動(短距離走、中・長距離走、リレー)	6	・単元テスト② ・実技テスト
2学期	球技2 ネット型「バレーボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パス、サーブ、アタック、攻撃と守備の原則の理解)	8	・単元テスト③ ・実技テスト
	球技3/体育理論 ベースボール型「ソフトボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(打撃、捕球、送球などの用具操作、走者と連携した打撃による攻撃とその守備)	8	・単元テスト④ ・実技テスト
	球技4/体育理論 ゴール型「バスケットボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	8	・単元テスト⑤ ・実技テスト
	球技5 ネット型「バドミントン」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・ストロークの理解、サービス、ラリーの組み立て)	10	・単元テスト⑥ ・実技テスト
	球技6 ネット型「卓球」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	10	
3学期			・ダンス発表会 ・実技評価チェックシート
	選択 ダンス ・現代的なリズムのダンス 器械運動 ・マット、跳び箱	10	
	球技バレー(男女合同)	6	・単元テスト⑦ ・実技テスト

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	外国語	英語コミュニケーションⅡ	6	必修	習熟度別

科目の目標	英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 また、英語の背景にある文化に理解を深め、世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する資質を身に付ける。さらに英語の学習を通して、他者を配慮し受け入れる寛容の精神や平和・国際貢献などの精神を獲得し、多面的思考ができるような人材を育てる。		
評価の観点	知識・技能 英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。 これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に着けている。	思考・判断・表現 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細を話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を配慮しながらコミュニケーションを図ろうとし、自らの学習を調整し、主体的に学びに向かうとしている。
評価の方法	単元テスト	単元テスト 探究スキルラーニングにおける成果物	探究スキルラーニングにおける成果物 各活動におけるリフレクション
教科書・教材	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2(ケンブリッジ大学出版局)、CAMBRIDGE EXPERIENCE 2 workbook(ケンブリッジ大学出版局)、新解説 英文法[強化]演習 Power Frame 850(桐原書店)		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	オリエンテーション	1	
	時制・態・助動詞	12	単元テスト①
	Unit 1 Friendship テンスとアスペクト(単純現在と現在進行形の使い分け・現在完了形・just, already, yetを使った現在完了形)	10	
	Unit 2 Migration テンスとアスペクト(現在形と現在完了進行形)、関係詞(制限用法)	10	単元テスト②
	探究スキルラーニング「What is your question?」	4	成果物
	Literature Skills 1『The Importance of Being Earnest』形式主語(目的語)のit	3	
	不定詞・動名詞	12	単元テスト③
	Unit 3 Entertainment テンスとアスペクト(used toとwould、過去形と過去進行形)	10	単元テスト④
	探究スキルラーニング「資料活用」	4	成果物
	動詞・副詞・形容詞のイディオム	12	夏休み明けテスト
2学期	接続詞・分詞・代名詞	12	単元テスト⑤
	Unit 4 Sports 助動詞(can/can't, have to / don't have to, mustとhave toの使い分け)使役動詞(makeとletの使い分け)	10	
	探究スキルラーニング「A 'for and against' essay」	4	成果物
	Unit 5 Crime テンスとアスペクト(過去完了)、不定代名詞	10	単元テスト⑥
	仮定法・関係詞	6	単元テスト⑦
	Literature Skills 2『Dracula』関係副詞	3	
	Unit 6 Freak Weather 条件を表すif、if/when/unlessの使い方、itを用いた直接法、未来の可能性を表すwill/may/might	10	
	Unit 7 Health of a nation 仮定法(仮定法過去、If I were you、仮定法過去とitを用いた直接法)、助動詞(提案を表すshould/had)	10	単元テスト⑧
	探究スキルラーニング「グループ発表」	6	成果物
	Unit 8 Our society 仮定法(仮定法過去完了、wish+過去形)	10	単元テスト⑨
	動詞・副詞・形容詞の語法	5	
	Literature Skills 3『The Murders in the Rue Morgue』関係代名詞(非制限用法)	2	
	Literature Skills 4『Gulliver's Travels』接続詞	2	
3学期	Unit 9 Pure Genius! テンスとアスペクト(現在形と過去形の受動態、現在完了形の受動態)	10	
	Unit 10 In The News 間接話法、sayとtellの使い分け	10	単元テスト⑩
	Literature Skills 5『The Time Machine』分詞構文	3	
	比較・疑問と否定	12	単元テスト⑪
	名詞のイディオム・名詞と冠詞の語法	12	単元テスト⑫
	前置詞・群前置詞・その他の文法事項	19	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	人文	言葉と表現	2	選択必修	選択

科目の目標	言葉に関する理論や観点を理解し、それをもとに言葉や言語作品について解釈し、他者に向けて表現することで、言葉や文化を知的に楽しみ、多様な人々に共感する力を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	表現の技法、言語動詞の差異、異文化と他者理解などの理論や観点の理解を深めている。	言語の理論や観点をもとに、言葉や言語作品について解釈を行うことができる。	言葉や文化を知的に楽しみ、多様な人々に共感する力を身につけている。
評価の方法	ペーパーテスト・論述など	ペーパーテスト・論述・レポート・成果物など	成果物・ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材			

対象学年	教科名	名称	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	総合的な探究の時間	探究Ⅴ	2	必修	学年

科目の目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次の通り育成する。 (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、課題研究に取り組むことの意義や価値を理解する。 (2) 「好きなこと」「得意なこと」「自身の価値観」「社会から求められること」をもとに課題研究のテーマを設定し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。 (3) 探究に主体的に取り組むとともに、自ら外部のリソースを活用するなど、他者と協働しながらよりよい成果物を作れるようになる。		
評価の観点	知識・技能 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、課題研究に取り組むことの意義や価値を理解できたか。	思考・判断・表現 「好きなこと」「得意なこと」「自身の価値観」「社会から求められること」をもとに課題研究のテーマを設定し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。	主体的に学習に取り組む態度 探究に主体的に取り組むとともに、自ら外部のリソースを活用するなど、他者と協働しながらよりよい成果物を作ることができたか。
評価の方法	探究活動の成果物(アイデアの試作品や発表会の内容)と成果物作成までの過程(チームでの取り組み状況等)から総合的に評価する。		
教科書・教材	学びの技(玉川大学出版部)		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	課題研究ガイダンス	2	
	テーマ設定(「好き」・「得意」・「価値観」・「社会から求められること」を考える)	12	
	テーマ設定(「好き」・「得意」・「価値観」・「社会から求められること」を考える)		
	テーマ設定(周辺領域の情報を調べる)		
	テーマ設定(周辺領域の情報を調べる)		
	テーマ設定(具体的な課題と課題解決のアプローチを考える)		
	テーマ設定(具体的な課題と課題解決のアプローチを考える)		
	研究計画	4	
	研究計画		
	中間発表準備	2	
	中間発表	2	
	データ収集・プロトタイプ作成	8	
	データ収集・プロトタイプ作成		
2学期	データ収集・プロトタイプ作成	8	
	データ収集・プロトタイプ作成		
	データ収集・プロトタイプ作成		
	データ収集・プロトタイプ作成		
	データ収集・プロトタイプ作成		
	データ収集・プロトタイプ作成		
	中間発表準備	2	
	中間発表	2	
	データ分析・テスト	6	
	データ分析・テスト		
	データ分析・テスト		
	データ分析・テスト		
	研究のまとめ・要旨作成	6	
	研究のまとめ・要旨作成		
	研究のまとめ・要旨作成		
3学期	発表資料作成	8	
	発表資料作成		
	発表資料作成		
	発表資料作成		
	発表準備・練習	6	
	発表準備・練習		
	発表準備・練習		
	発表準備・練習		
	青開学会(探究活動成果発表会)	6	
	青開学会振り返り	2	
	1年間の振り返り	2	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	家庭	家庭基礎	2	必修	ホームルーム

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	家庭科オリエンテーション	1	ペーパーテスト
	第1章 生涯を見通す	2	提出物
			授業への取り組み
	第2章 人生をつくる	5	
	第3章 子供とともに育つ	8	
	第4章 超高齢社会を共に生きる	6	
	第5章 共に生き、共に支える	4	
2学期	第6章 食生活をつくる	18	ペーパーテスト
			提出物
	食生活の課題		実習
	食事と栄養		授業への取り組み
	調理の基礎・実習		
	これからの食生活		
		16	
	第7章 衣生活をつくる		
	被服の入手・管理		
3学期	第8章 住生活をつくる	6	ペーパーテスト
			提出物
	第9章 経済生活を営む	8	実習
			授業への取り組み
	第10章 持続可能な生活を営む	2	
	第11章 これからの生活を創造する	2	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	公民	公共	2	必修	ホームルーム

科目の目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して顕著される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生きる国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
評価の方法	ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	教育図書『公共』、第一学習社『最新公共資料集2023』、数研出版『4ステージ演習ノート 公共』		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	公共の扉「公共と人」	6	
	公共の扉「公共と倫理」	6	ペーパーテスト①
	公共の扉「公共の基本原理」	6	ペーパーテスト②
			成果物など
	現代社会の諸課題「法」	12	ペーパーテスト③
2学期	現代社会の諸課題「政治」	16	ペーパーテスト④
	現代社会の諸課題「経済」(前半)	10	ペーパーテスト⑤
			成果物など
	現代社会の諸課題「経済」(後半)	12	ペーパーテスト⑥
3学期	現代社会の諸課題「情報」	6	
	持続可能な社会へ	4	ペーパーテスト⑦
			成果物など